

1 疑問・反語その3

<書き下し文・意味>

- (1) **いづれのひか** 何れの日か是れ帰年ならん (いつの日になったら故郷に帰るときがくるのだろうか)
- (2) **いづれのところにか** 門を出でて何れの処にか京師を望まん (門を出てもどこに恋しい都を見渡せようか、いや見渡せない)
- (3) **いづくにか** 牛何くにか之く (牛はどこへ行くのか)
- (4) **いづれのところか** 日暮郷関何れの処か是れなる (日暮れどき故郷を探してみるが、どこが故郷なのか)
- (5) **いづくにゆかんと** 遑遑として何くに之かんと欲する (あわてふためいてどこに行こうと望むのか)

<句法解説>

- 何は、疑問・反語の句法。「いづれの」と読み、「いつの」と訳す。
- 何は、疑問・反語の句法。「いづれの」と読み、「どここの」と訳す。
- 何は、疑問・反語の句法。「いづくにか」と読み、「どこに」と訳す。
- 何は、疑問・反語の句法。「いづれの」と読み、「どここの」と訳す。
- 何は、疑問・反語の句法。「いづくに」と読み、「どこに」と訳す。

2 疑問・反語その4

- (6) **なにをもって** 先生何を以て之を知る (先生はどうしてそのことがわかるのですか)
- (7) **なにをもって** 何を以て吾が国を利せん (どういう手段で我が国に利益をもたらしてくれるか)
- (8) **なんするものぞ** 客は何為る者ぞ (あなたはどのような者なのか)
- (9) **なんすれぞ** 何為れぞ去らざるや (どうして去らないのか)
- (10) **なにをもってか** 何を以てか徳に報いん (どんなやり方で人の恩に報いたらよからうか)

- 何以は、疑問・反語の句法。「なにをもって」と読み、「どうして」と訳す。
- 何以は、疑問・反語の句法。「なにをもって」と読み、「どのようにして」と訳す。
- 何為は、疑問・反語の句法。「なんする」と読み、「どういふ〜か」と訳す。
- 何為は、疑問・反語の句法。「なんすれぞ」と読み、「どうして〜かか」と訳す。
- 何以は、疑問・反語の句法。「なにをもって」と読み、「どのようにして」と訳す。



【アプリ版のご紹介】古文・漢文

古文・漢文を学習中の中学生、高校生必見！定期試験とセンター試験に頻出の「古文単語」「古典文法」「漢文」を、完全に無料で学べるアプリが登場！！



【オマケの一題】

中学社会 地理・歴史・公民

本会議を開くために必要な議員数は、総議員の何分の何以上？

(A) 4分の1 (B) 3分の1 (C) 2分の1 (D) 3分の2